

1. 島尻教育研究所主催の研修に参加してきました～☆(^O^)

10月28日(木)に、島尻教育研究所「令和3年度公私立幼稚園、こども園、保育所(園)、研究主任・教頭・副園長・主幹等研修会 発展ステージ②」の研修がオンラインであり、幼稚園の先生方と一緒に学んできました～！そこで、今回、スタカリだより11号では、この研修会で学んできたことを紹介していきたいと思います♪先生方、宜しくお願い致します！！

2. 研修内容&参加者

今回の研修内容は、「保幼小がチームとなってつなぐ円滑な接続」～八重瀬町保幼小連携プロジェクト～と題して、八重瀬町保幼小連携コーディネーターの国吉和美氏が講話を行っていただきました。

参加者は主に、公私立幼稚園、こども園、保育所(園)、研究主任・教頭・副園長・主幹・連携担当者等で、講話後のグループ協議、意見交換等もすごく勉強になりました。

3. 八重瀬町保幼小連携コーディネーターの国吉和美氏の講話

【連携体制の構築】

八重瀬町では、町内の公立、法人が4校区(東風平、白川、具志頭、新城)のブロックに属し交流に参加しているそうです。各園小学校に連携担当を置き、担当者を中心にそれぞれの実情にあった取り組みを進めているそうです。また、公立幼稚園が〈結節点〉として役割を担っているそうです！

【子どもの姿から学びを語り合う保育カンファレスへ】

公開保育や公開授業を通して、子どもの育ちや教師の援助・環境構成について保育カンファレスを実施しているそうです。話し合いをきっかけに、小学校の教師も、保育園や幼稚園でどのような経験をして就学しているのかということをおまかに知ることが繋がっているそうです。これからは、幼児期の遊びの中の学びを小学校へ伝えていくことが求められているそうです！

【アプローチカリキュラム】

アプローチカリキュラムとは、保育・幼児教育と小学校教育が円滑につながるためのカリキュラムのことです。八重瀬町では、小学校とのつながりを意識したアプローチカリキュラムなるために、具体的な姿をイメージできるように、作成を行っているそうです。

4. 感想

今回の研修に参加して、幼稚園、保育所(園)、こども園では、小学校への接続を意識して保育を行っていることがわかりました。小学校でも、まずは、園での子どもの姿を知ることが大切だと感じました。「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」とどう繋がっているのか、園での遊び、子どもの姿が、小学校でのどの学びの姿に繋がるか意識していくことが、私達、小学校教諭ができることだと思いました。